

令和7年度
県営東山水泳場屋外プール
北側歩廊ほか改修工事

図面番号	図面名称
A-00	表紙・図面目録
A-01	改修工事特記仕様書（1）
A-02	改修工事特記仕様書（2）
A-03	付近見取図・配置図
A-04	1階平面図
A-05	歩廊改修 外部仕上表・南立面図・天井伏図
A-06	歩廊改修 詳細図
A-07	シャッター改修詳細図



特記事項（特記なき限り）	件名 県営東山水泳場屋外プール北側歩廊ほか改修工事		日付 2025/8		
	担当 中山公幸	図面名 表紙・図面目録	縮尺 ー	図面番号	
	ソラト設計株式会社		用紙 A2	A-00	
	1級建築士登録第252150号 中山 公幸				

建築改修工事仕様書

I. 工 事 概 要

1. 工 事 場 所 米子市東山町
2. 敷 地 面 積 13,194.66㎡
3. 地 域 地 区 都市計画地域(◎内・外) 市街化調整区域(・内 ◎外)
用途地域(第一種中高層住居専用地域)
防火地域(指定なし)

番号	名 称	工事種別	構 造	階数	延べ面積 (㎡)
1	鳥取県営東山水泳場	改修	R C造一部S造	2階建て	4,443.60

Ⅱ. 建築改修工事仕様

- ## 共通仕様
- (1) 図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官庁官庁営繕部制定「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）令和4年版」（以下、「改修標準仕様書」という。）による。ただし、改修標準仕様書に規定されている項目以外は、国土交通省大臣官庁官庁営繕部制定「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）令和4年版」（以下、「標準仕様書」という。）による。
- (2) 請負者は、建築基準法に基づく完了検査（中間検査含む）の検査には、特定行政庁（建築主事等）が求める検査に必要な資料等（報告書等）を用意する。
- (3) 電気及び機械設備工事を本工事に含む場合、電気及び機械設備工事はそれぞれの工事仕様書を適用する。
- ## 2. 特記仕様
- (1) 項目は番号に○印のついたものを適用する。
- (2) 特記事項は○印のついたものを適用する。
- 印のつかない場合は、※印のついたものを適用する。
- 印と※印のついた場合は共に適用する。
- (3) 項目に記載【 】 の内表示番号は、改修標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。
（ ） の内表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。
- (4) □印は、「図等」にある環境物品等の調達の推進等に関する法律」（以下「グリーン購入法」という。）の特定調達品目とする。判断の基準は「環境物品等の調達の推進等に関する基本方針（令和4年2月26日変更閣議決定）」（環境省のホームページからダウンロード可能）による。
- (5) 関係法令（条例を含む）の改正等により、工内容が法令等に抵触する恐れがあることを認識した場合には、その対応等について、監督職員と協議を行うものとする。
- (6) 材料及製造所等の記載は順不同である。

章	項 目	特 記 事 項
一 般 共 通 事 項	① ① 適用基準等	※ 建築工事標準詳細図（令和４年版） 国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課監修（以下「標準詳細図」という） ※ 建築改修工事監理指針（令和４年版） 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 ※ 工事写真撮影ガイドブック建築工事編及び解体工事編（平成３０年版） 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 ◎ 建築物解体工事標準仕様書（令和４年版） 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 ◎ 建築工事監理指針（令和４年版） 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修
	② 官公庁その他への手続 [1. 1. 3]	工事の施工に伴い必要な官公署、その他への手続き、検査並びにその費用は、本工事請負者の負担とする。
	3 電気保安技術者 [1. 3. 3]	担当技術者の職務を補佐し、当該工事の工事期間中自家用電気工作物の保安の業務を行うものとする。
	4 工事安全計画書 [1. 3. 7]	建築工事安全施工技術指針及び建設公衆災害防止対策要綱を参考に、工事安全計画書を監督職員に提出する。
	5 発生材の処理等 [1. 3. 12]	・ 引渡しを要するもの（ ） ・ 特別管理産業廃棄物（ ） ・ 処理方法（ ） ・ 現場において再利用を図るもの（ ） ・ 再生資源化を図るもの（ ） ・ コンクリート塊 ・ アスファルトコンクリート塊 ・ 建設発生木材 ・ ＰＣＢ含有シーリング材の調査・処理 ・ 第一次判定 現場にてサンプルを採取し、シーリング材種及び分析の要否を判定する。 採取箇所数 ※図示 箇所 ・ 第二次判定 専門分析機関にてＰＣＢ含有量の分析を行う。 分析回数 計 箇所 ・ 除去処理工事 除去範囲 ※図示 ・ せつこうボードの処理 ・ 石綿含有せつこうボード 改修特記仕様書第９章による ・ ひ素・カドミウム含有せつこうボード ・ 製造業者へ回収委託 ・ 埋立処分（管理型最終処分場） 処分施設の名称・所在地（ ） ・ 石綿含有、ひ素・カドミウム含有以外のせつこうボード ・ 再資源化（再資源化施設） ・ 最終処分（管理型最終処分場） 処分施設の名称・所在地（ ）
	6 環境への配慮 [1. 4. 1]	化学物質を放散させる建築材料等 1) 本工事の建物内部に使用する建築材料等は、設計図書に規定する品質及び性能を有すると共に、次の①から④を満たすものとする。 ① 合板、木質系フローリング、構造用バネ材、集成材、単板積層材、ＭＤＦ、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上げ塗材は、アセトアルデヒド及びビスチレンを発生しない又は発散が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。 ② 接着剤及び塗料にトルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。 ③ 接着剤は、可塑性（フタル酸ジニブチル及びフタル酸ジ－エチルヘキシルを含有しない難揮発性の可塑性を除く）が追加されていない材料を使用する。 ④ ①の材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器等は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びビスチレンを発生しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。 また、設計図書に規定する「ホルムアルデヒド放散量」は、次のとおりとする。 2) ホルムアルデヒド放散量の区分において、規制対象外とは次の①又は②に該当する材料を指す。 ① 建築基準法施行令第20条の第7項①に定める第一種、第二種及び第三種ホルムアルデヒド発散建築材料以外の材料 ② 建築基準法施行令第20条の第7項④の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料

7

材料の品質等

[1. 4. 2]

3）ホルムアルデヒド放散量の区分において、第三種とは次の①又は②に該当する材料を指す。

① 建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第三種ホルムアルデヒド放散建築材料

② 建築基準法施行令第20条の7第3項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料

国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律（平成12年法律第100号）に基づく環境物品等の調達の推進に関する基本方針における公共工事の配慮事項（資材（材料及び機材を含む）の梱包及び容器は、可能な限り簡易であって、再生利用の容易さ及び廃棄時の負担軽減に配慮されていること。）に留意する

材料・機材等の品質及び性能

1）本工事に使用する材料は、設計図書に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能有するものとする。

2）備考欄に商品名が記載された材料は、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は監督員の承諾を受ける。

3）標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。

4）本工事に使用する材料のうち、5）に指定する材料の製造業者等は、次の①～⑥の事項を満たすものとし、その証明となる資料（外部機関が発行する証明書等）を監督職員に提出して承諾を受けるものとする。ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合はこの限りではない。

① 品質及び性能に関する試験データが整備されている。

② 生産施設及び品質の管理が適切に行われている。

③ 安定的な供給が可能である。

④ 法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得している。

⑤ 製造又は施工の実績があり、その信頼性がある。

⑥ 販売、保守等の営業体制が整えられている。

5）製造業者等に関する資料の提出を定める材料

床床型用鋼製デッキプレート	現場発泡断熱材
鉄骨柱下無収縮モルタル	フリーアクセスフロア
無収縮グラウト材	可動間仕切り
乾式保護材	移動間仕切り
既設コンクリート	トイレブース
ルーフトレイン	煙突用成形ライニング材
吸水調整材	天井点検口
断熱前壁	床点検口
クローゼット	グレーチング
自動扉機構	屋上緑化システム
自閉式上吊り戸機構	トップライト
重量シャッター	ポリマーセメントモルタル
軽量シャッター	既設合目地材
オーバーヘッドドア	鉄製製ふた
防水剤	

8

石綿含有建材の調査

[1. 5. 1]

調査

※石綿含有建材の事前調査

工事着手に先立ち、あらかじめ関係法令に基づき、石綿含有建材の事前調査を行う

資料（アスベスト定性分析報告書）

・分析による石綿含有建材の調査

分析対象

アクリライト、アモサイト、アンソファイト、クリソタイル、クロシドライト、トモライト

分析方法

材料名	分析方法（定性）	分析方法（定量）
	JIS A 1481-1又はJIS A 1481-2	JIS A 1481-3又はJIS A 1481-4
・ 箇所	・ 箇所	・ 箇所
・ 箇所	・ 箇所	・ 箇所
・ 箇所	・ 箇所	・ 箇所

材料が仕上塗材の場合は、層ごとの分析を行うこと

サンプル数 1箇所あたり3サンプル

採取箇所 図示

9

施工数量調査

[1. 6. 2]

調査範囲 ※外壁（庇、笠木共） ・屋根 ・図示

調査方法 ※テストハンマーによる打診及び目視 ・図示

外壁調査は、外壁改修フロに対応する外壁面のひび割れ、浮き、欠損部、内部まで貫通したひび割れ及び雨漏りの有無についての位置及び数量（幅、長さ、面積）の調査を行う

屋根調査は、防水面のひび割れ、浮き、欠損部、目地欠損部及び雨漏りの有無についての位置及び数量（幅、長さ、面積）の調査を行う。

また、その報告書は、調査結果を立面図等に記載し集計表を添えて監督職員に2部提出する（必要に応じて写真等を添付する。）

10

調査のための破壊部分の補修

[1. 6. 3]

補修方法 ※ 図示

11

技能士

[1. 7. 2]

下表により適用する技能士は、適用する工事作業中、1名以上の者が自ら作業をするともに、他の技能者に対して、施工品質の向上を図るための作業指導を行う

（技能士 職業能力開発促進法による一般技能士又は第一等級の資格を有する者）

また、その技能士はその者が技能士であることがわかる名札（下図参考）を常時着用する

工事種目	技能検定職種	技能検定作業
仮設工事	とび	○ とび作業
防水改修工事	防水施工	・ アスファルト防水工事作業 ・ ウレタンゴム系塗膜防水工事作業 ・ アクリルゴム系塗膜防水工事作業 ・ 合成ゴム系シート防水工事作業 ・ 塩化ビニルシート防水工事作業 ・ セメント系防水工事作業 ○ シーリング防水工事作業 ・ 改質アスファルトシートトーチ工法防水工事作業 ・ F R P防水工事作業
外壁改修工事	樹脂接着剤注入施工	○ 樹脂接着剤注入工事作業
	左官	○ 左官作業
	タイル張り	・ タイル張り作業
建具改修工事	サッシ施工	○ ビル用サッシ施工作業
	ガラス施工	・ ガラス工事作業
	自動ドア施工	・ 自動ドア施工作業
	建具製作	・ 木製建具加工作業
	ガラス用フィルム施工	・ 建築フィルム作業
内装改修工事	建築大工	・ 大工工事作業
	建築板金	・ 内外装板金作業
	内装仕上施工	・ 鋼製下地工事作業 ・ プラスチック系床仕上工事作業 ・ カーペット系床仕上作業 （2級及びプラスチック系仕上工事作業を含む） ・ ボード仕上工事作業
	表装	・ 壁装作業
	左官	・ 左官作業
	タイル張り	・ タイル張り作業

<

	18	保全に関する資料 [1.9.3]	下記のものをA4版ファイルに製本して監督職員に提出する。 ○ 主な主要資材、機器等のメーカー及び施工者一覧表 ・ 機器性能試験成績書及び取扱説明書 ・ 保証書 ・ 官公署届出書類（保守に必要なとするもの） ・ 建築物の保守に関する説明書、指導案内書 ・	
	19	火災保険等	工事的目的及び工事材料等工事施工中の事故に伴う損害を補てんするため火災保険等に加入する。 （保険の加入期間は、工事完成引渡しまで（概ね工期+21日）とする。）	
	20	環境配慮	鳥取県公共事業環境配慮指針 ※ 対象工事 ○ 非対象工事	
	21	建設リサイクル法	※ 対象工事 ○ 非対象工事	
	22	鳥取県福祉の まちづくり条例	※ 対象工事 ○ 非対象工事	
	23	景観形成条例	※ 対象工事 ○ 非対象工事	
24	建築物省エネ法	※ 対象工事 ○ 非対象工事		
仮設工事	1	騒音・粉じん等の対策 [2.1.3]	騒音・粉じん等の対策 ・ 防音パネル ・ 防音シート 防音パネル、防音シートを取り付ける足場の設置範囲 ※ 工事に必要な範囲	
	2	足場その他 [2.2.1] [2.2.1]	「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の（2）手すり据置き方式又は（3）手すり先行専用方式により行う。 外部足場 ○設置する（範囲 ※工事に必要な範囲 ○ ※脚立、足地板等） ・ 設置しない 防護シート ・ 設置する（範囲 ※工事に必要な範囲 ） ・ 設置しない 内部足場 ・ 設置する（※脚立、足地板等 ） ・ 設置しない 材料、撤去材等の運搬方法 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ E種 C種：利用可能なエレベーター（ ） D種：利用可能な階段（ ） ※ ユニク車等による	
	3	既存部分の養生 [2.3.1]	養生方法等 ○既存部分の養生方法 ※ビニールシート、合板等による ・ 既存家具、既存設備等の養生方法 ※ビニールシート等 ・ 既存ブラインド、カーテン等の養生方法 ※ビニールシート等（取外し再取り付けを行う） 保管場所 ※構内既存施設内 ・ 固定された家具等（備品、机、ロッカー等）の移動 ※行う（図示） 既存部分に汚染又は損傷を与えるおそれがある場合は養生を行う。また、万一損傷を与えた場合は、受注者の責任において速やかに修復等の処置を行う。	
	4	仮設間仕切り [2.3.2]	仮設間仕切り及び仮設扉の設置箇所 ※図示 仮設間仕切りの種類と材質等 ・ A種 ※ B種 ・ C種 ・ 図示 A、B種の仕上げ材 ※石膏ボード（GB-R 厚さ9.5mm） ・ 合板（普通合板 厚さ9mm） A、B種の片面への塗装等 ・ 行う ※行わない A種のグラスウール等の充填材 ※ 行う（JIS A 6301グラスウール吸音材 2号3K 厚50mm） ・ 行わない 仮設扉の種類 ※木製（合板張り程度）	
	5	監督職員事務所 [2.4.1]	※ 設ける m ² 程度 ○ 設けない 現場に設置する機具等は、現場説明書の施工条件明示事項による。 ・ 既存建物内の一部を使用する（場所） ・ 構内に新設する 規模（ m ² ）	
	6	表示板	※ 工事表示板 900 1,200 地色 白 工事名 ○○○○○○新築工事 工程・棟数 鉄筋コンクリート造 ○建替 取付時期 ○令和〇年〇月 工事期間 令和〇年〇月から令和〇年〇月まで 設計者 ○○○○○○設計 監理者 ○○○○○○建築士 隣接住宅棟 ○○○○○○設計 施工者 ○○○○○○建設 連絡先電話番号 ○○-○○-○○○○ 番 番号 ○○-○○○○ 現場責任者 ○○ 鳥取県西部総合事務所管理棟建設局 建設部で運用 庶務課併用室 連絡先 eメール ○○○@xxxxx.jp 記入要領 1．書体は角ゴシックとする。 2．お願い表示板は平易な表現及び内容とし、 監督職員が指示するものとす。	・ お願い表示板 1,200 地色 白 令和〇年の〇月工事完了予定 工事期間中は、ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。 現在の進捗率〇〇％ 事業加力のお願い 工事期間中は、ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。 施業者 ○○○○○○建設 監理者 ○○○○○○設計 発注者 鳥取県西部総合事務所管理棟建設局 建設部で運用 庶務課併用室 連絡先 eメール ○○○@xxxxx.jp
	7	工事用水	構内既存の施設 ※ 利用できる（ ※ 有償 ・ 無償 ）	
	8	工事用電力	構内既存の施設 ※ 利用できる（ ※ 有償 ・ 無償 ）	
	9	工事用仮設物	構内既存の施設 ○ 利用できる（ ※ 有償 ・ 無償 ）	
	10	工事現場の イメージアップ		
	防水改修工事	8	シーリング [3.7.2～8] [表3.7.1]	シーリング改修工法の種類 ・ シーリング充てん工法 ○シーリング再充てん工法 ・ 拡幅シーリング再充てん工法 ・ ブリッジ工法 ポンドプレーカー張り ・ 適用する ・ 適用しない エッジング材張り ・ 適用する ・ 適用しない シーリング材の種類、施工箇所 下表以外は、改修標準仕様書表3.7.IIによる。 [表3.1.2] ○図示 MS－2 仕上げを行わない施工箇所 ○ 全て ・ 打継目地 シーリング材の目地寸法 ※改修標準仕様書3.7.3(a)(1)～(3)による 接着性試験 ※ 簡易接着性試験 ・ 引張接着性試験

4-1-1

外壁改修工事（共通事項）

1

可とう性エポキシ樹脂
[4. 2. 4]

品質性能等

比重：表示値±0.10、押出し性：60秒以下
スランプ：3mm以下、加熱減量：5%以下
引張強さ：
常温物性1.0N/mm²以上、低温性1.0N/mm²以上、加熱劣化1.0N/mm²以上
伸び：常温物性30%以上、低温性30%以上、加熱劣化30%以上
引張接着性 最大引張応力：常温物性1.0N/mm²以上
破断時の伸び：常温物性10%以上
1) 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。
2) 対象とする被着体を浸さず、かつ周囲を汚損しないこと。
3) 常温・常湿（温度5～35℃、湿度45～85%）において製造所の指定する期間又は製造後6ヶ月保存した後であっても、上記品質性能等の規定に適合していること。

試験方法
イ) 試験室の状態：温度23±2℃、湿度50±5%を標準状態とする。
ロ) 試験体個数：3個
ハ) 試験体の作り方：標準状態で試験室に保管した主剤及び硬化剤を、適切な容器に製造所の定める割合で採取し3分間十分に混練する。
ニ) 比重：JIS A 1439「建築用シーリング材の試験方法」の5.11
ホ) 押出し性：JIS A 1439の5.14（試験用カートリッジによる押出し試験）
ヘ) スランプ：JIS A 1439の5.1
ト) 加熱減量及び試験
1. 試験器具
(1) 時計皿：2枚（直径75mm）
(2) 恒温器：JIS K 6257「加硫ゴム及び熱可塑性ゴム-熱老化特性の求め方」の4.3試験方法の表1に規定する促進老化試験A法のAA-2強制循環型熱老化試験機（横風式）（ギヤー式老化試験機も可）又はこれに準じた装置。
(3) はかり：秤量200g、感量1mg
2. 試験方法
(1) 2枚の時計皿の質量(M0)を測定。
(2) 一方の時計皿に試料を直径約60mm、厚さ約2mmになるように塗りつけ、残りの時計皿でふたをして、直ちにその質量(M1)を測定。
(3) ふたを取り除いて、標準状態に14日間静置。
(4) 80±3℃に調節した恒温器中で336時間(14日間)加熱。
(5) 加熱後、恒温器から取り出し、標準状態に4時間静置し、再び残りの時計皿でふたをして、その質量(M2)を測定。
3. 加熱減量は、次の式によって計算し、平均値とする。
$$L = \frac{M1 - M2}{M1 - M0} \times 100$$

L：加熱減量（%）
M0：2枚の時計皿の質量（mg）
M1：加熱前の試料と2枚の時計皿の質量（mg）
M2：加熱後の試料と2枚の時計皿の質量（mg）
チ) 引張強さ：JIS K 6251「加硫ゴム及び熱可塑性ゴム-引張特性の求め方」に準ずる1号テンベルを用い、引張速度は200mm/minとする。
リ) 伸び：JIS K 6251に準ずる。1号テンベルを用い、引張速度は200mm/minとする。
ヌ) 引張接着性：JIS A 1439の5.20
ル) 標準状態で試験：試験体を標準状態で14日間養生後、引張強さ、伸び、引張接着性を測定。
ヲ) 低温での試験：試験体を標準状態で14日間養生後、0±3℃に調節した恒温室に16時間保存後、恒温室内にて引張強さ、伸びを測定。
フ) 加熱劣化試験：試験体を標準状態で14日間養生後、80±3℃に調節した恒温器内に14日間放置後、標準状態に戻して引張強さ、伸びを測定。

4-1-2

外壁改修工事（共通事項）

4

エポキシ樹脂モルタル
[4. 2. 4]

品質性能等

接着強さ：1.0N/mm²以上 圧縮強さ：20.0N/mm²以上
曲げ強さ：3日後の値 10N/mm²以上
1) 可とうで容易で、かつ、硬化後の仕上がりが良好であること。
2) 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。
3) 「労働安全衛生法」に基づく「有機溶剤中毒予防規則」に規定された第一種有機溶剤を使用しないこと。
4) 形状に異常がなく、だれが生じないこと。
5) 常温・常湿（温度5～35℃、湿度45～85%）において製造所の指定する期間又は製造後6ヶ月保存した後であっても、上記品質性能等の規定に適合していること。

試験方法
イ) 試験室の状態：温度23±2℃、湿度50±5%を標準状態とする。
ロ) 試験体個数：3個
ハ) 試料の調整：標準状態で試験室に保管した主剤及び硬化剤を製造所の定める割合で採取し、十分に攪拌する。
ニ) 外観：ハ)の試料を清浄なガラス板に均一に塗布し、均質性と異物の混入の有無を観察。
ホ) 圧縮強さ：JIS R 5201「セメントの物理試験方法」の10.4により試験体を作成し、10.1(4)に規定する試験機で10.5により測定し、10.6により求める。
ヘ) 曲げ強さ：JIS R 5201「セメントの物理試験方法」の10.4に準じ試験体を作成する。
ト) 1(5)に規定する試験機により、支点間100mmとし、供試体を成形したときの側面の中央に毎秒50 N/sの割合で載荷し最大荷重 P (N) を求め、 $P \times 0.00234 = \sigma b$ の式で求める。
チ) 比重：曲げ試験体の寸法と重量を測定して求める。
リ) 圧縮強さ：JIS A 5371「フイバー強化繊維コンクリート製品」の附属書 B（規定）及び推奨仕様 B-1に規定する普通平板の表面を清浄し、その上面に縦40mm、横40mm、厚さ10mmの鉄片を張り付けて単軸引張力を加える。最大荷重 (P) を断面積 (A) で除して求める。
ル) だれ試験：JIS A 5371の 附属書B（規定）及び推奨仕様B-1に規定する普通平板の表面を清浄して、その上に厚さ30mm、幅100mm、長さ50mmの寸法にエポキシ樹脂モルタルを塗り付け、塗付け開始から5分後に、平らに置かれた平板を直向に立て起し、そのままの状態で静置する。24時間後のエポキシ樹脂モルタルの変形状態を観測し、その形状の異常の有無とだれ長さを測定する。

5

ポリマーセメントスラリー
[4. 2. 4]

品質性能等

引張強さ：JIS K 6251「加硫ゴム及び熱可塑性ゴム-引張特性の求め方」に準ずる1号テンベルを用い、引張速度は200mm/minとする。
リ) 伸び：JIS K 6251に準ずる。1号テンベルを用い、引張速度は200mm/minとする。
ヌ) 引張接着性：JIS A 1439の5.20
ル) 標準状態で試験：試験体を標準状態で14日間養生後、引張強さ、伸び、引張接着性を測定。
ヲ) 低温での試験：試験体を標準状態で14日間養生後、0±3℃に調節した恒温室に16時間保存後、恒温室内にて引張強さ、伸びを測定。
フ) 加熱劣化試験：試験体を標準状態で14日間養生後、80±3℃に調節した恒温器内に14日間放置後、標準状態に戻して引張強さ、伸びを測定。

6

吸気調整材
[4. 3. 5]

品質性能等

だれ 下がり量：5mm以内、表面状態：ひび割れの発生がないこと
曲げ強さ：6.0N/mm²以上、圧縮強さ：20.0N/mm²以上
接着性 標準時：1.0N/mm²以上、湿潤時：0.8N/mm²以上、低温湿潤0.5N/mm²以上
透水性：裏面ぬれ、水滴の付着がないこと
1) 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。
2) ポリマーセメントモルタルに用いる高分子エマルションは、常温常湿において製造後6ヶ月保存しても変質がないこと。

7

既製調合モルタル
[4. 3. 5]

品質性能等

初期硬化性（標準）：2.0N/mm²以上、接着強さ（標準）6.0N/mm²以上
圧縮強さ：50.0N/mm²以上、曲げ強さ：30N/mm²以上、硬化収縮率：3.0%以下
1) 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。
2) 対象とする被着体を浸さず、かつ周囲を汚損しないこと。
3) 常温・常湿（温度5～35℃、湿度45～85%）において製造所の指定する期間又は製造後6ヶ月保存した後であっても、上記品質性能等の規定に適合していること。

試験方法
イ) 曲げ試験以外は「JIS A 6024「建築補修用注入エポキシ樹脂」の6.試験方法による。
ロ) 曲げ試験
1. 6.1 b)の試料を標準寸法の金型（長さ80.0±0.2mm、幅10.0±0.2mm、厚さ4.0±0.2mm）に充填し、6.1の試験室の状態で7日間養生後、脱型したもの。
2. 試験方法は、JIS K 7171「プラスチック-曲げ特性の求め方」による。
3. 曲げ強さは、次の式によって計算する。
$$\sigma_b = \frac{3PL}{2bh^2}$$

σb：曲げ強さ（MPa）
P：最大荷重（N）
L：支点間距離（mm）
b：試験片の幅（mm）
h：試験片の厚さ（mm）
4. 試験の回数 各試験 3回

4-2-1

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-2

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-3

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-4

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-5

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-6

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-7

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-8

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-9

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-10

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-11

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-12

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-13

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-14

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-15

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-16

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-17

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-18

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-19

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-20

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-21

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-22

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-23

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-24

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-25

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-26

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-27

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-28

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-29

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-30

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-31

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-32

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-33

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-34

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-35

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-36

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-37

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-38

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-39

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-40

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-41

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-42

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-43

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-44

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-45

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-46

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-47

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-48

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-49

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-50

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-51

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-52

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-53

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-54

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-55

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-56

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-57

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-58

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-59

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-60

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-61

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-62

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-63

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-64

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-65

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-66

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-67

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-68

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-69

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-70

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-71

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-72

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-73

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-74

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-75

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-76

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-77

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-78

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-79

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-80

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-81

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-82

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-83

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-84

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-85

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-86

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-87

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-88

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-89

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-90

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-91

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-92

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-93

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-94

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-95

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-96

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-97

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-98

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-99

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-100

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-101

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-102

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-103

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-104

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-105

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-106

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-107

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-108

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-109

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-110

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-111

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-112

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-113

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-114

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-115

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-116

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-117

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-118

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-119

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-120

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-121

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-122

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-123

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-124

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-125

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-126

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-127

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-128

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-129

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-130

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-131

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-132

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-133

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-134

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-135

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-136

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-137

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-138

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-139

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-140

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-141

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-142

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-143

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-144

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-145

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-146

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-147

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-148

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-149

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-150

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-151

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-152

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-153

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-154

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-155

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-156

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-157

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-158

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-159

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-160

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-161

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-162

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-163

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-164

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-165

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-166

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-167

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-168

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-169

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-170

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-171

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-172

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-173

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-174

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-175

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-176

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-177

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-178

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-179

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-180

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-181

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-182

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-183

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-184

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-185

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-186

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-187

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-188

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-189

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-190

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-191

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-192

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-193

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-194

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-195

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-196

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-197

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-198

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-199

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-200

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-201

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-202

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-203

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-204

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-205

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-206

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-207

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-208

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-209

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-210

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-211

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-212

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-213

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-214

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-215

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-216

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-217

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-218

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-219

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-220

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-221

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-222

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-223

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-224

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-225

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-226

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-227

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-228

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-229

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-230

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-231

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-232

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-233

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-234

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-235

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-236

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-237

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-238

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-239

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-240

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-241

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-242

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-243

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-244

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-245

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-246

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-247

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-248

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-249

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-250

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-251

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-252

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

4-2-253

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

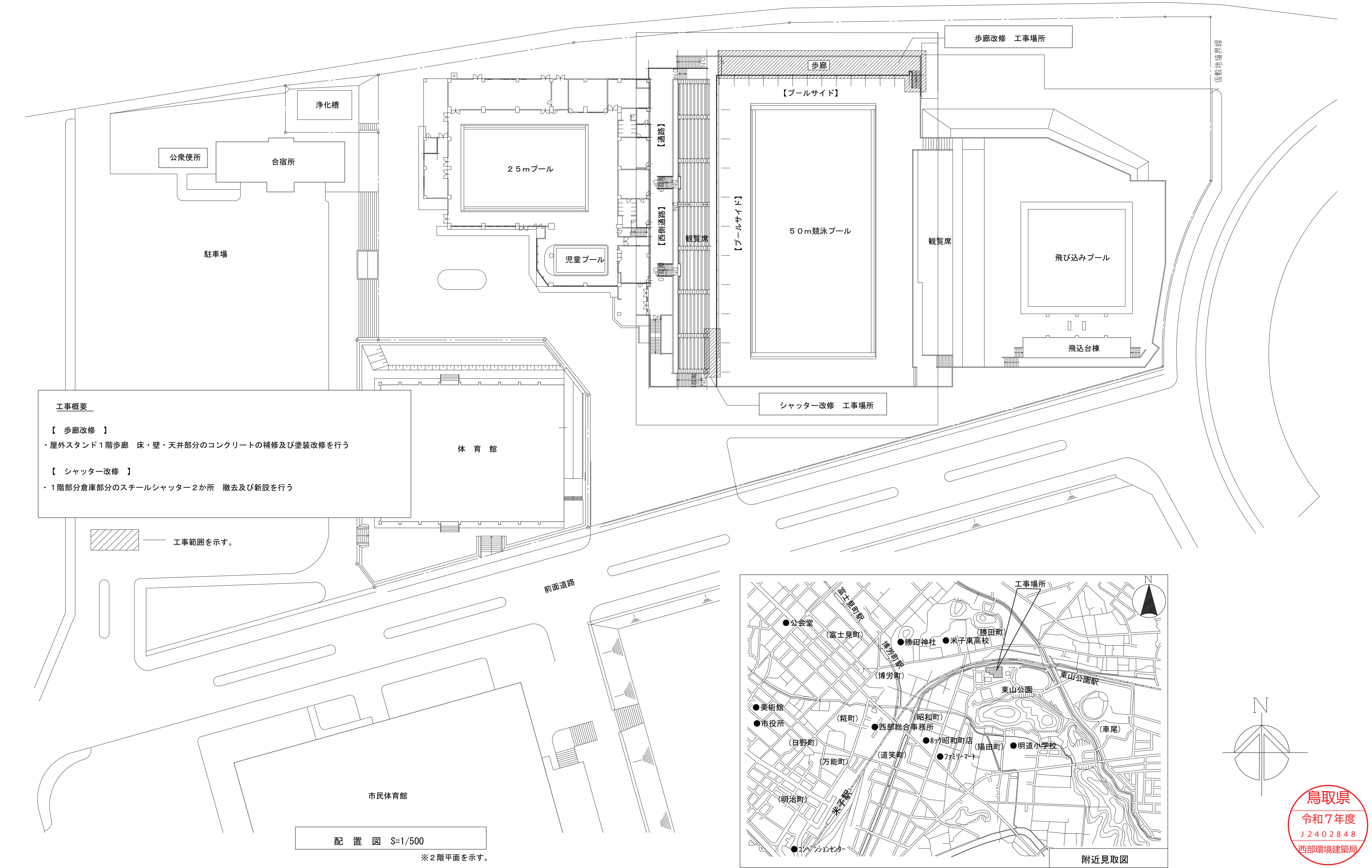
4-2-254

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

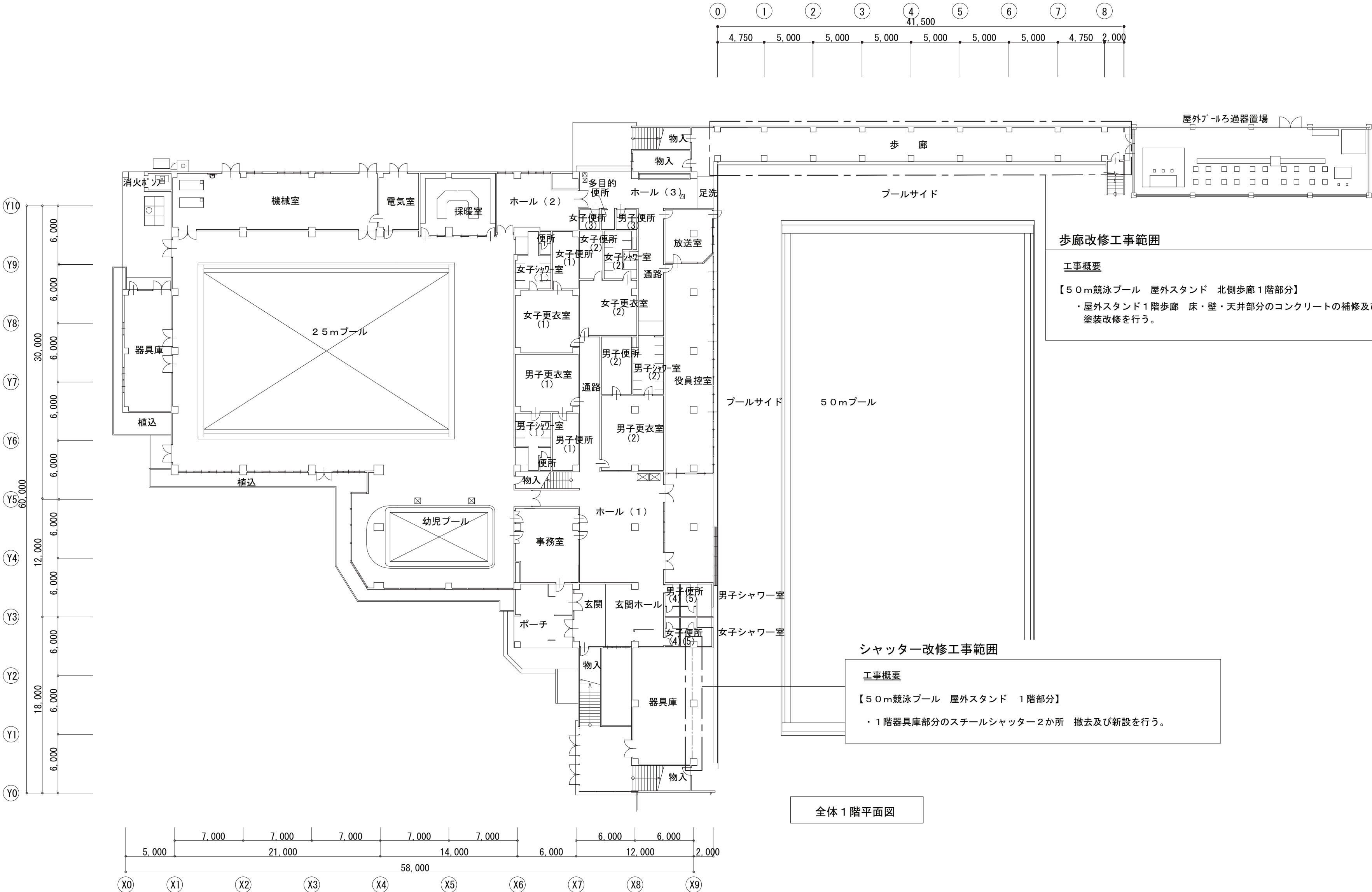
4-2-255

外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）

<



特記事項（特記なき限り）	件名 県営東山水泳場屋外プール北側歩廊ほか改修工事		日付 2025/8	
	担当 中山公幸	図面名 付近見取図・配置図	縮尺 1/500	図面番号
	ソラト設計株式会社		用紙 A2	A-03
	1級建築士登録第252150号 中山 公幸			



歩廊改修工事範囲

工事概要

【50m競泳プール 屋外スタンド 北側歩廊1階部分】

- ・屋外スタンド1階歩廊 床・壁・天井部分のコンクリートの補修及び塗装改修を行う。

シャッター改修工事範囲

工事概要

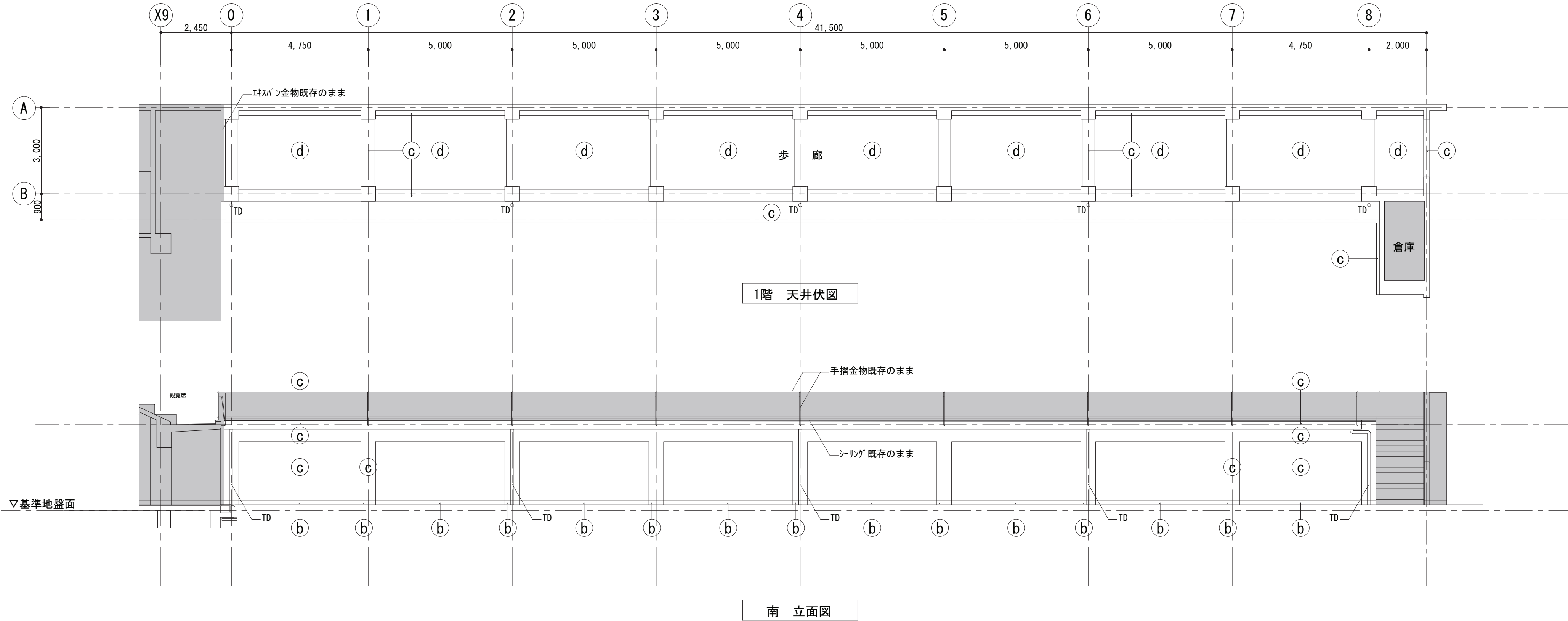
【50m競泳プール 屋外スタンド 1階部分】

- ・1階器具庫部分のスチールシャッター2か所 撤去及び新設を行う。

全体1階平面図



特記事項（特記なき限り）	件名 県営東山水泳場屋外プール北側歩廊ほか改修工事		日付 2025/8		
	担当 中山公幸	図面名 1階平面図	縮尺 1/300	図面番号	
	ソラト設計株式会社		用紙 A2	A-04	
	1級建築士登録第252150号 中山 公幸				

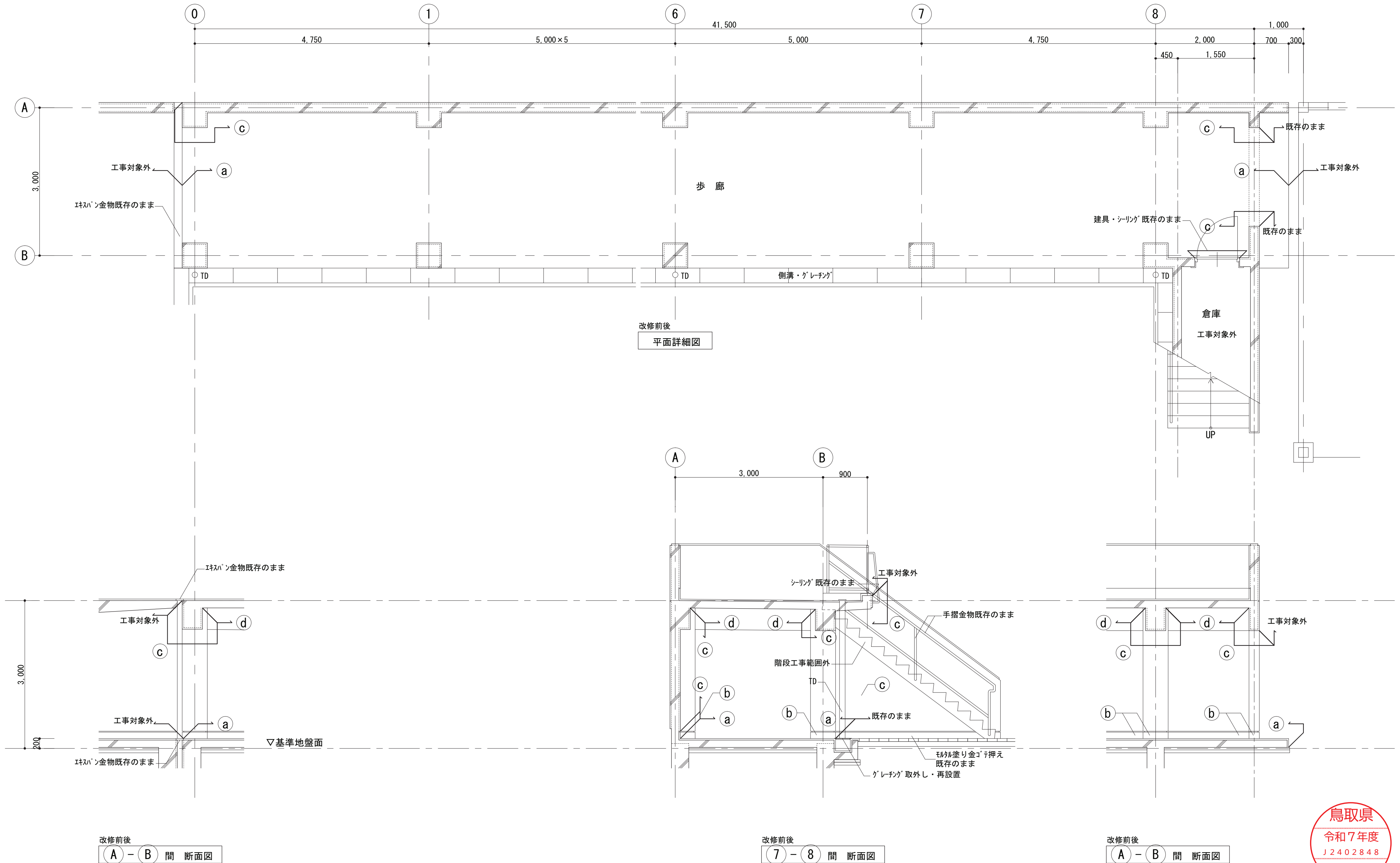


外部仕上表

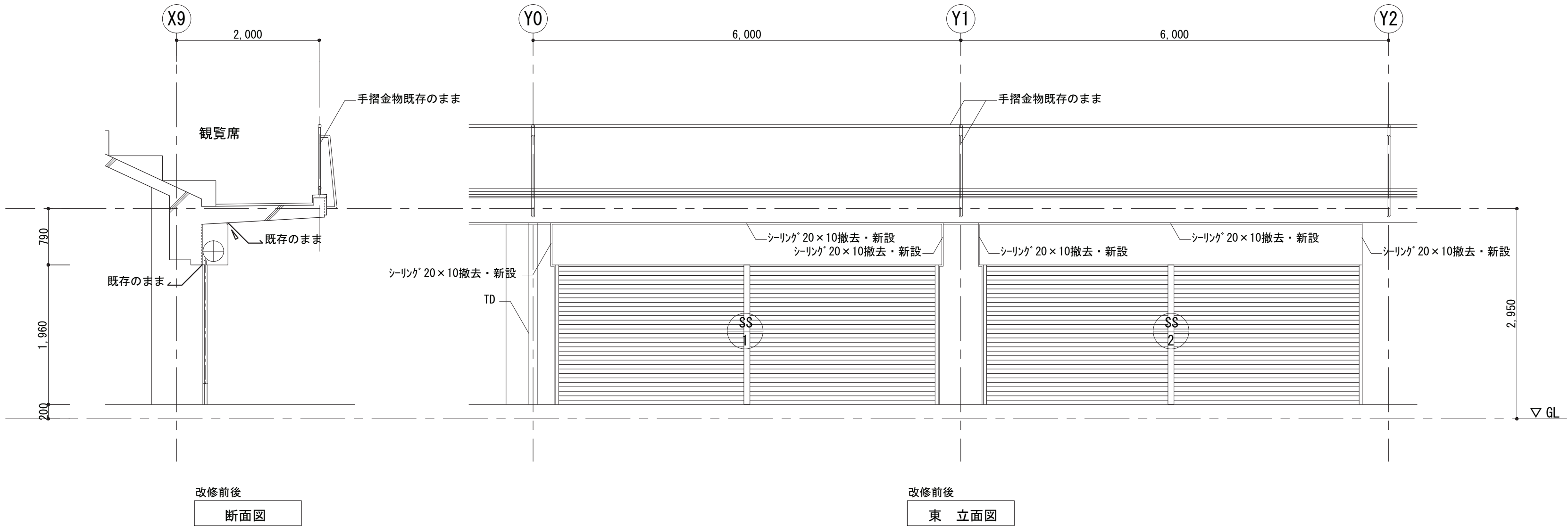
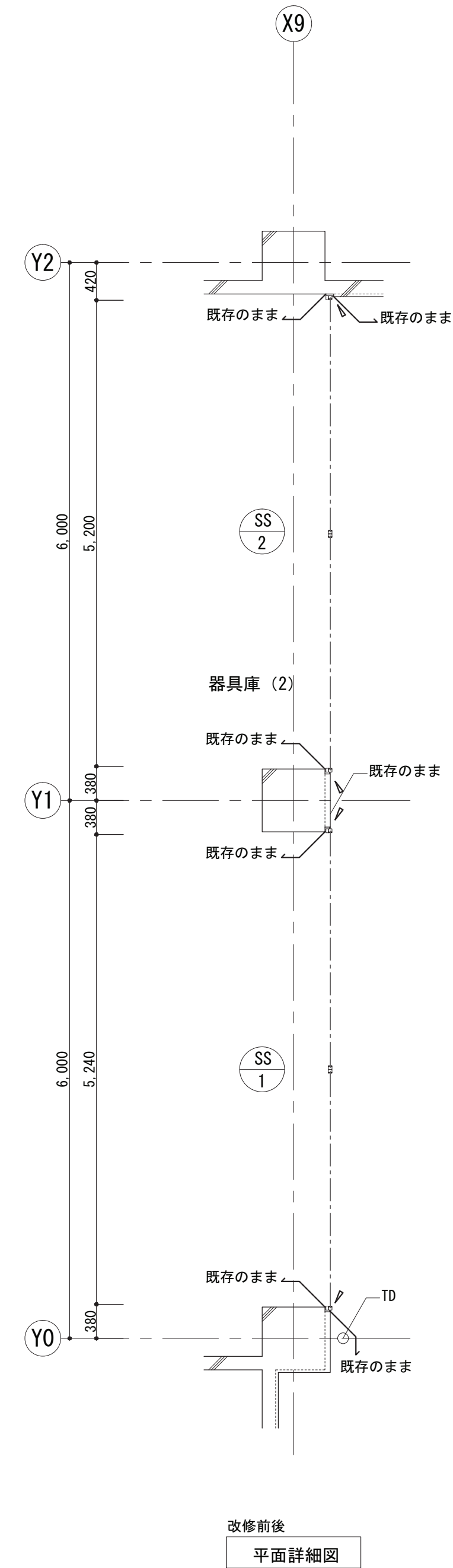
部位	記号	種別	仕上・内容	備考
床	a	改修前	下地 コンクリートの上もみル塗り金ゴテ押え 仕上 珪酸樹脂塗り床	工事範囲外 プールサイド、観覧席、屋外階段、階段下倉庫、屋外プールろ過器置場、2階、北側外壁
		改修後	下地 機械研磨処理 仕上 合成樹脂塗り床	
巾木	b	改修前	下地 コンクリートの上もみル塗り金ゴテ押え 仕上 珪酸樹脂塗り床	既存のまま エキスパンション金物、縦樋、手摺金物、側溝、倉庫扉、設備機器・設備配管等
		改修後	下地 サンドー処理 仕上 合成樹脂塗り床	
外壁 梁型 軒天 天井	c	改修前	下地 コンクリート打放し 仕上 複層塗材E	※ 既存塗膜等の除去は高圧水洗工法（加圧力30～50MPa）劣化部除去程度とする ※ 各仕上塗り材の下地調整にセメント系下地調整材（C-1）を見込む ※ 記載なき仕上は c とする
		改修後	下地 既存塗膜等の除去、下地処理及び下地調整 仕上 複層塗材E	
軒天	d	改修前	下地 コンクリート打放し 仕上 複層塗材E	凡例  工事範囲外 TD 縦樋既存のまま
		改修後	下地 既存塗膜等の除去、下地処理及び下地調整 仕上 外装薄塗材Si	



特記事項（特記なき限り）	件名	県営東山水泳場屋外プール北側歩廊ほか改修工事		日付	2025/8	
	担当	中山公幸	図面名	歩廊改修 外部仕上表・南立面図・天井伏図	縮尺	1/100
	ソラト設計株式会社		1級建築士登録第252150号	用紙	A2	図面番号
			中山 公幸	A-05		



特記事項（特記なき限り）	件名 県営東山水泳場屋外プール北側歩廊ほか改修工事		日付 2025/8		
	担当 中山公幸	図面名 歩廊改修 詳細図	縮尺 1/50	図面番号	
	ソラト設計株式会社		用紙 A2	A-06	
	1級建築士登録第252150号 中山 公幸				



■ シャッター改修仕様		
	改修前	改修後
形 式	軽量バランスシャッター	同左
寸 法	SS-1:W5,240×H1,960 SS-2:5,200×H1,960	同左
数 量	SS-1:1か所、SS-2 1か所	同左
材 質	スチール製	同左、スラットの厚さはメーカー標準仕様による
仕 上	SOP塗り	合成樹脂塗料焼付
金 物	付属品一式（施錠）	同左
	SUSガイドレール、中棧、SUSケース	同左
〆	シーリング 20×10撤去	シーリング 20×10新設 MS-2
TD	縦樋既存のまま	同左
備 考		
記載のない床・外壁・内壁・軒天等の仕上は既存のままとする		
既存シャッターは全て撤去し、新設する		

特記事項（特記なき限り）	件名 県営東山水泳場屋外プール北側歩廊ほか改修工事		日付 2025/8		
	担当 中山公幸	図面名 シャッター改修詳細図	縮尺 1/50	図面番号	
	ソラト設計株式会社		用紙 A2	A-07	
	1級建築士登録第252150号 中山 公幸				

